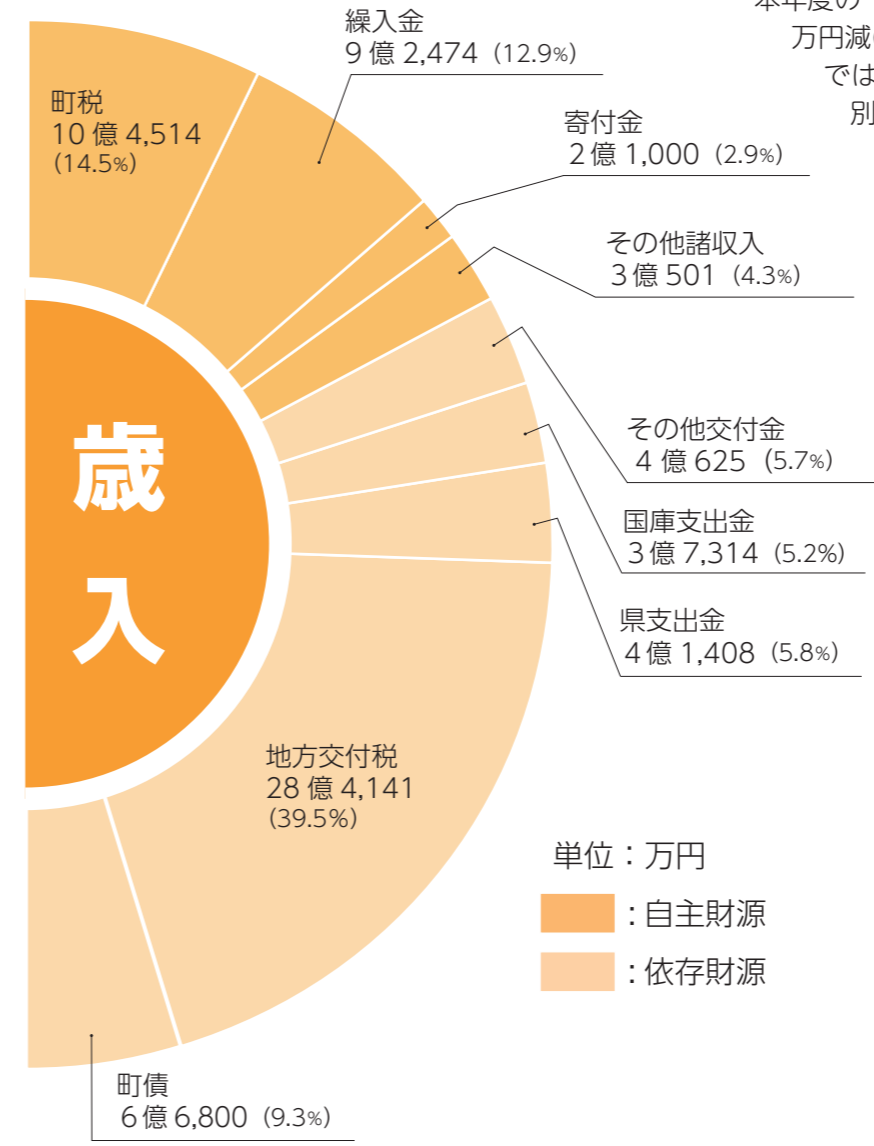


令和8年度一般会計当初予算額は

71億8,777万円

令和8年度予算が第1回町議会定例会で可決されました。本年度の一般会計当初予算は、前年度に比べ、2億7,658万円減の71億8,777万円です。では、今年度の予算の使いみちについて、歳入歳出別にみてみましょう。(予算額は、1万円未満を四捨五入しています。) ※構成比は端数処理のため、合計が100%にならない場合があります。



歳入

国・県支出金は4億3,859万円の減

町が自主的に収入することができ、町税収入(町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税)は前年度比2.5%増の10億4,514万円。

これに繰越金や保育料などの分担金および負担金を加えた自主財源は、全体の34.6%にあたる24億8,489万円です。一方、地方交付税、国・県支出金、町債などのように、その調達を国や県などに依存している依存財源は47億2,880万円と全体の65.4%を占めており、財源構成の大きな割合を占めています。

さまざまなまちづくりに使われる地方交付税は、前年度比4%増の28億4,141万円、安定した行政運営を支える重要な財源です。

一定の事業などに対し、国や県から補助金や負担金として支払われる国・県支出金は、前年度比35.8%減の7億8,722万円。

町が行う事業や地方交付税の不足分などを補う財源として借りる町債は、前年度比8.7%増の6億6,800万円です。

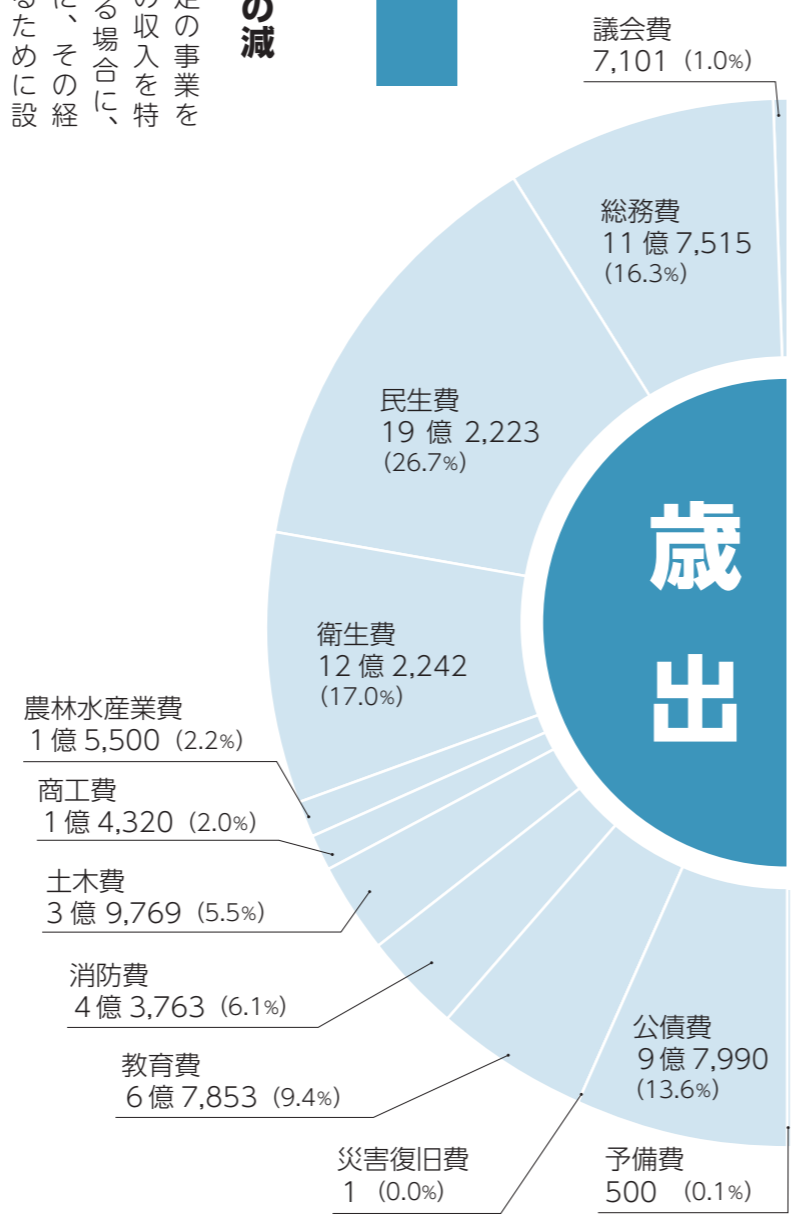
特別会計は2,307万円の減

特別会計は特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合に、一般会計とは別に、その経理を明らかにするために設けた会計です。

特別会計

会計別の予算額

区分	予算額
総額	95億8,590万円
一般会計	71億8,777万円
特別会計	17億3,722万円
国民健康保険	12億1,196万円
後期高齢者医療	3億6,221万円
診療所事業	1億781万円
訪問看護ステーション事業	5,524万円
公営企業会計	6億6,091万円
水道事業	4億527万円
町営浄化槽整備推進事業	2億5,564万円



歳出

消防費は1億7,466万円の減

消防費は、津波避難タワー整備や新防炎情報共有システム更新改修事業の減などにより、前年度に比べ28.5%減の4億3,763万円。一方で、衛生費は、東紀州環境施設組合への負担金の増加などにより、前年度より23.9%増の12億2,242万円を計上しています。

- ◆ **議会費** 町議会議員の議員報酬や議会映像インターネット配信に係る費用など
- ◆ **総務費** 町長や総務課、企画調整課などの職員の給与や庁舎の管理、交通安全、防犯対策、選挙、町民バスの運行など
- ◆ **民生費** 児童や高齢者、障がい者への福祉事業や保育所の運営、福祉課職員の給与など
- ◆ **衛生費** ごみ処理やし尿処理などの環境に対する経費、検診などの健康づくりに対する経費
- ◆ **農林水産業費** 農業委員会委員への報酬、農道や林道の新設・修繕など農林水産業に対する経費
- ◆ **商工費** 商工業や観光の振興、ウミガメ公園や飛雪の滝キャンプ場の管理など
- ◆ **土木費** 道路の維持補修や、港湾や輪中堤、防潮水門の管理など
- ◆ **消防費** 消防団活動や熊野市に委託している広域消防の分担金、防災対策事業の経費など
- ◆ **教育費** 幼稚園や小学校、中学校の運営や教育施設の管理・運営、教育委員会職員の給与、文化活動やスポーツの振興など
- ◆ **公債費** 事業を進めるため、借り入れた町債を返済する経費

3 | Kihō 2026 - 5